

## 教科目名 現代英語 I (Modern English I)

専攻名・学年 : 全専攻 2 年 (教育プログラム 第 4 学年 ◎科目)

単位数など : 必修 2 単位 (前期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 大木正明

授業の概要			
コミュニケーションの道具としての英語の基本のひとつに「発音」がある。国際性豊かな人格を養うにも、相手の言っていることが理解出来、同時に正確な発音を通じて相手に理解してもらわなければ、互いのコミュニケーションは成り立たない。そこで本講義では、ひとつの物語を通して英語の文章構造、文法、そして英語独特の言い回しを理解し、同時に英語（特にアメリカ英語）独特の発音を通じて円滑なコミュニケーション能力の涵養を図る。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (G2), JABEE 目標 (f)	
(1) 文化的かつ物語的なテキストを完読することに加え、現代英語表現における日常表現を理解することによって、日常会話に必要な不可欠な表現などをコミュニケーションという観点から理解し身に付ける。(定期試験)			
(2) 英語独特の発音およびその記号を理解することによって、高度な英語コミュニケーションスキルを養い身につける。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	オリエンテーション・音の弱化 (1)	英語独特の強弱リズムの基本について	【理解の度合い】
2	音の弱化 (2)・音の消失	子音やあいまい母音の消失について	
3	t の音変化・弾音・声門閉鎖音	アメリカ英語独特の音変化について	
4	破裂・連鎖する音	破裂音および破裂しなくなる音について	
5	つながる音 (1)	子音+母音でつながる音について	
6	つながる音 (2)	子音+母音で意外な音になる事について	
7	音の連結	t や d と母音がつながる音について	
8	短縮音	英語の「短縮」による音について	
9	脱落音	短縮による脱落する音について	
10	同化音	語尾と語頭が影響する音について	
11	内容語・機能語	内容語と機能語の音について	
12	イントネーション	英語のリズムと抑揚について	
13	英語独特の音についての復習 (1)		
14	英語独特の音についての復習 (2)		
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	毎回のハンド・アウトをしっかりと把握し、積極的に講義に取り組む。		【総合達成度】
教科書	特になし。		
参考図書	大木正明著、『元気の出るニューヨーク映画講義』, 海鳥社、2006 年。		
自学上の注意	受講前に必ず前回の講義内容を自分なりにまとめ、要点を整理する。		
関連科目	英語 B, プロジェクト演習 II, 現代英語 II		
総合評価	定期試験 (100%) により評価する。評価が 60 点以上を合格とする。再試験は実施しない。		